

令和元年度 第2回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和元年12月11日（水） 9時00分～11時30分

2. 場 所：香川県社会福祉総合センター 7階 第1中会議室

3. 出席者：委員（敬称略）

委員長 井原 健雄（香川大学名誉教授） 【欠席】

副委員長 白木 渡（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携
推進機構副機構長）

委員 池田 弘子（(株)人間科学研究所所長）

大谷 誠一（(一社)香川経済同友会専務理事）

角道 弘文（香川大学創造工学部教授）

佐藤 好美（佐藤好美建築工房主宰）

末永 慶寛（香川大学創造工学部教授）

（委員7名のうち6名出席）

4. 議 事

(1) 事後評価対象計画

下記の社会資本総合整備計画9計画について、県や市町の事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

- | | |
|----------------------------|--------|
| ① 生活に密着した道路整備による快適なくらしづくり | [香川県他] |
| ② 総合的な浸水対策の推進（防災・安全） | [香川県他] |
| ③ 総合的な土砂災害対策の推進（防災・安全） | [香川県他] |
| ④ 活力のある香川の港づくり | [香川県] |
| ⑤ 安心安全で活力のある香川の港づくり（防災・安全） | [香川県] |
| ⑥ 高松市における安心・安全な港づくり（防災・安全） | [高松市] |
| ⑦ 坂出市における港の安全性の向上（防災・安全） | [坂出市] |
| ⑧ 安全で安心して利用できる公園づくりの推進 | [香川県他] |
| ⑨ みどり豊かで文化を育むまちづくり | [高松市] |

(2) 審議内容

各計画の事業効果の発現状況として、全ての計画について「一定の効果があった」と事業主体が評価したこと、また、全ての計画について事業を「継続する」という今後の方針に対し、「概ね妥当である」との意見を付す。

委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・交通死亡事故が多発するなか、生活道路の整備にあたっては、高齢者や子供の歩行者の交通安全対策に配慮していただきたい。(①)

- ・河川のハード整備には長期間を要することから、洪水から人命を守るために、ソフト対策と一体となって整備していただきたい。(②)
- ・次期計画の策定にあたって、計画の課題に対する成果をよりの確に表現する定量的指標を検討していただきたい。(④)
- ・公園施設の長寿命化だけではなく、社会の動向に併せた整備にも取り組んでいただきたい。(⑧)

(3) その他

1) 今後の予定

次回の委員会では、第1回委員会にて選定した再評価事業について、現地調査及び詳細審議を実施する。

— 以上 —